

Ⅱ. 平成26年度 北九州市障害児・者等実態調査等について

1. 調査目的

「北九州市障害者支援計画～第4期北九州市障害福祉計画(平成27年度～平成29年度)～」策定の基礎資料とするとともに、今後の障害福祉施策の参考とするため、北九州市内に居住する障害児・者に対して、その生活実態やサービス利用状況等についての調査を実施するとともに、市民に対し、障害のある方への理解や関心の程度などについての調査を実施した。

2. 調査内容

(1) 平成26年度北九州市障害児・者等実態調査

ア 調査方法 郵送によるアンケート方式(同封の返信用封筒にて回収)

イ 調査対象

- 北九州市内在住の身体障害者、知的障害者、障害児、精神障害者、発達障害児(者)及び難病患者を対象として実施
- 身体障害者、知的障害者及び障害児は、各手帳対象者から無作為抽出
- 精神障害者については、精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院医療)対象者から無作為抽出
- 発達障害児(者)については、関係団体からの推薦に加え、発達障害者支援センター「つばさ」に調査票等を置き、同センターを利用する方も調査の対象とした。
- 難病患者については、関係団体からの推薦による。

【調査対象者の要件について：変更した点(前回調査との変更点)】

○65歳以上の障害者も対象とした(前回調査：65歳未満の障害者)

身体障害者手帳の交付者数の7割が65歳以上の高齢者であり、65歳以上の障害者の実態を把握する必要があること等から、65歳以上の障害者も対象とすることにした。

○発達障害児(者)及び難病患者について

前回調査(平成23年度)では、「身体・知的・精神の各手帳を持っていない方」を対象としていたが、より多くの発達障害児(者)・難病患者の方の実態把握を行うため手帳交付の有無の要件をなくした。

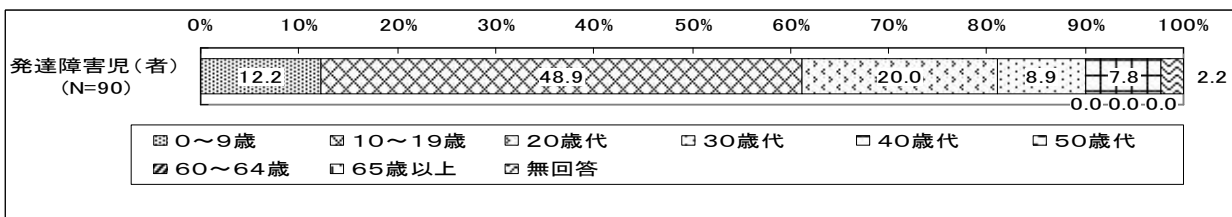
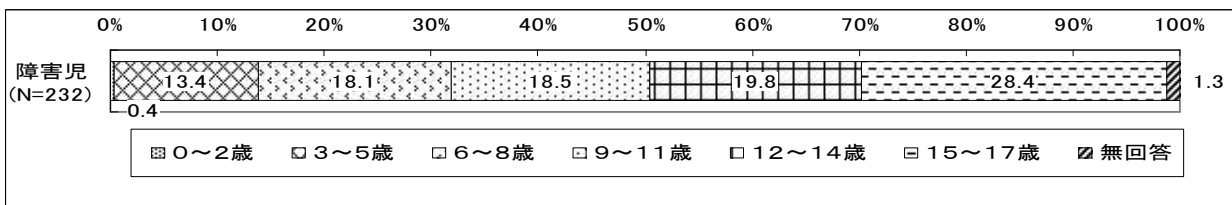
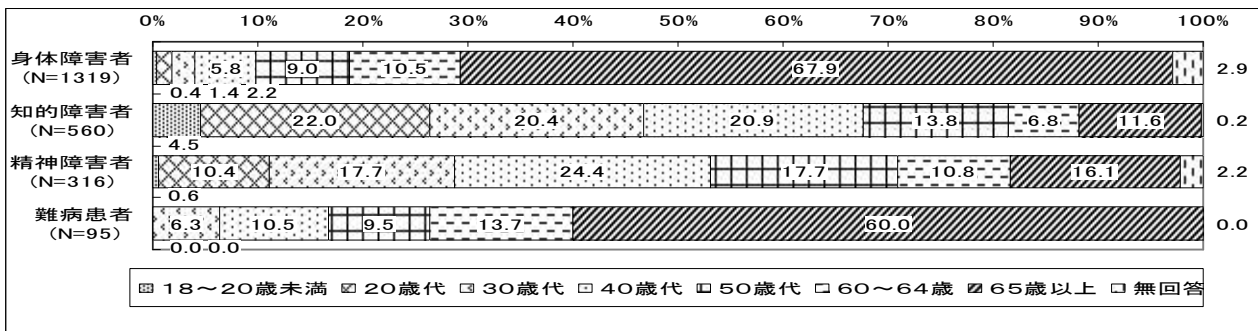
ウ 調査対象及び回収率（平成26年6月19日～7月9日にかけて実施）

種別	調査票発送数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ②/①
身体障害者	2,200	1,319	60.0%
知的障害者	1,000	560	56.0%
精神障害者	600	316	52.7%
障害児	400	232	58.0%
発達障害児(者)	125	90	72.0%
難病患者	195	95	48.7%
合計	4,520	2,612	57.8%

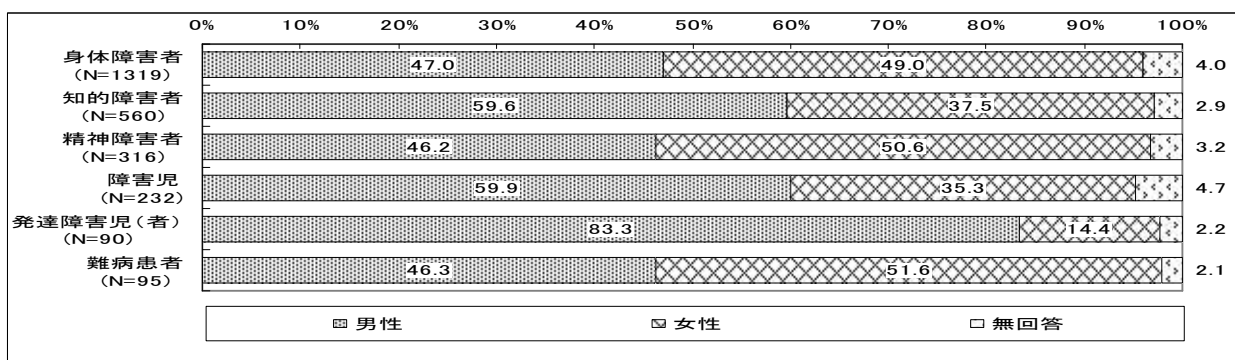
※参考：前回調査の状況（平成23年度実施）

調査票発送数 4,240人、有効回収数 2,429人、有効回収率 57.3%

エ 年代



オ 性別



2) 平成26年度北九州市障害者等聴き取り調査

ア 調査方法

調査員が障害福祉サービス等を提供する事業所等を訪問し、サービス等を利用して
いる障害者を対象に聴き取り調査を行った。

イ 調査対象 (平成26年7月11日～8月8日にかけて実施)

身体障害者	知的障害者	精神障害者 (在宅、入所)	精神障害者 (入院)	合計
28人	29人	24人	5人	86人

ウ 事業所等の種別ごとの調査人数

種別	身体障害者	知的障害者	精神障害者		合計
			(在宅、入所)	(入院患者)	
施設入所支援	5人	5人	0人	0人	10人
就労移行支援	3人	2人	4人	0人	9人
就労継続支援A型	3人	3人	3人	0人	9人
就労継続支援B型	3人	3人	3人	0人	9人
生活介護	2人	4人	4人	0人	10人
療養介護	2人	0人	0人	0人	2人
共同生活援助	3人	5人	3人	0人	11人
居宅介護	3人	4人	4人	0人	11人
地域活動支援センター	0人	0人	3人	0人	3人
小規模共同作業所	4人	3人	0人	0人	7人
精神科病院	0人	0人	0人	5人	5人
合計	28人	29人	24人	5人	86人

(3) 平成26年度市政モニターアンケート <障害福祉施策について>

ア 調査方法 調査票による郵送及びインターネット調査

イ 調査対象及び回答者数 (平成26年6月19日～7月14日にかけて実施)

市政モニター数	回答者数
150人	145人(回答率:96.7%)